

[研究会記事] 歴史地震研究会だより 2023 年 5 月～2024 年 5 月

歴史地震研究会幹事会

1. 前号以降の歴史地震研究会の活動(2023 年 5 月～2024 年 5 月)と今後の予定

2023 年

- 7 月 6 日(水) 2022 年度第 5 回幹事会(オンライン会議)
- 8 月 10 日(水) 2023 年度第 1 回幹事会(オンライン会議)
- 9 月 1 日(金)～3 日(日) 第 40 回歴史地震研究会(小田原大会)
 - 1 日 研究会・懇親会
 - 2 日 研究会・総会
 - 3 日 巡検・公開講演会
- 12 月 19 日(火) 2023 年度第 2 回幹事会(オンライン会議)

2024 年

- 5 月 9 日(木) 2023 年度第 3 回幹事会(オンライン会議)
- 6 月 14 日(金) 2023 年度第 4 回幹事会(オンライン会議)=予定
- 9 月 13 日(金)～15 日(日) 第 41 回歴史地震研究会(木曽御嶽大会・木曽町文化交流センター)=予定

2. 第 40 回歴史地震研究会 総会議事録

日時:2023 年 9 月 2 日(土) 13:10～14:20

場所:小田原三の丸ホール

■定足数確認(大邑総務委員長)

歴史地震研究会会則第 20 条により、総会は会員の 10 分の 1 の出席を要すると定められている。現在の会員数 246 名、総会参加会員数は 65 名、委任状提出 17 名(代理人を議長とするもの 14 件、会長とするもの 3 件)で定足数を満たし、総会は成立する。

■松浦律子会長挨拶

■議長選出

山中佳子会員を議長に推薦。山中佳子会員が議長に選出され議長が進行を務める。

第一号議案 2022 年度事業報告および決算報告

1. 2022 年度事業報告

(1) 研究成果発表会および講演会

①第 39 回歴史地震研究会(高槻大会)の開催について(代理:大邑総務委員長)

総会資料第一号議案 1.(1)①により説明。

②第 39 回歴史地震研究会(小田原大会)の開催準備について(萬年行事委員長)

総会資料第一号議案 1.(1)②により説明。

(2) 会誌の刊行について(加納編集出版委員長)

総会資料第一号議案 1.(2)により、『歴史地震』第 38 号を 2023 年 7 月に発行したことについて説明。

(3) 広報活動について(代理:大邑総務委員長)

総会資料第一号議案 1.(3)により、ホームページの運用・更新、研究大会の関係学協会への周知、メーリングリストの管理について説明。

(4) 歴史地震研究に関する業績の表彰について(大邑総務委員長)

都司嘉宣会員に功績賞を授与することを幹事会で決定し、2023 年 9 月 1 日に授賞式を行ったことを総会資料第一号議案 1.(4)により説明。

(5) その他(大邑総務委員長)

総会資料第一号議案 1.(5)により、研究会の各事業を行うために、大会中の総会 1 回と幹事会 5 回を行ったこと、および社会貢献活動として国土地理院の夏休み向け企画展示「関東大震災 100 年 -地図に残る地殻変動と被災状況-」に協力したことを説明。

2. 2022 年度決算報告

(1)2022 年度決算報告について（諸井財政委員長）

総会資料第一号議案 2 および説明資料の 2022 年度会計監査報告書、会員の現況及び会費受取状況により、2022 年度の収入と支出、高槻大会の収支について報告。

(2)会計監査報告（中村監査役、植竹監査役）

2022 年度収支決算報告の監査を行い、予算の執行、帳簿、証票の整理等、正常かつ適正に処理されていることを確認した旨報告。

歴史地震研究会 2022年度 決算報告

項目		予算額	決算額	増減	内訳
収入	2022年度会費	1,016,000	1,012,000	▲ 4,000	4000円×253名
	2021年度会費	0	24,000	24,000	4000円×6名
	2020年度以前会費	0	16,000	16,000	4000円×4名
	2023年度会費	0	100,000	100,000	4000円×25名
	2024年度会費	0	4,000	4,000	4000円×1名
	会誌バックナンバー代	0	13,270	13,270	会誌6部・要旨集3部
	会誌口絵代・超過頁代	0	23,000	23,000	口絵×1
	2022年度高槻大会剰余金	0	32,602	32,602	
	寄付他の収入	0	8,887	8,887	学術著作権協会より
	前年度繰越	3,569,558	3,569,558	0	
合計		4,585,558	4,803,317	217,759	
支出	2022年度高槻大会関係費	100,000	0	▲ 100,000	剰余金のみ
	次年度以降大会準備費	150,000	4,128	▲ 145,872	小田原会場視察旅費
	苫小牧講演会経費	150,000	75,305	▲ 74,695	旅費・会場費
	歴史地震38号印刷・発送代	810,000	862,444	52,444	450部
	歴史地震編集費	25,000	5,000	▲ 20,000	査読料
	HP管理費	10,000	9,385	▲ 615	
	会議費	200,000	0	▲ 200,000	オンライン会議のため
	功績賞関連費	100,000	0	▲ 100,000	該当者なし
	雑費（通信費・文房具購入など）	30,000	10,870	▲ 19,130	資料送付料・他
	合計	1,575,000	967,132	▲ 607,868	
次年度繰越金		3,010,558	3,836,185	825,627	

〈第一号議案についての質疑〉

質疑：会誌は海外（特に中国・韓国など）にも送られているのか？

応答：日本語の資料を収集している機関に送っているものが1件あるが、海外の研究機関や大学図書館への送付は行っていない。（堀川副会長）

質疑：日本の大学図書館などには送っているのか。何件くらいか。

応答：希望する日本の大学図書館および自治体図書館などに本年度は123件送付している。

（議長）第一号議案 2022 年度事業報告および決算報告の承認

拍手により第一号議案 2022 年度事業報告および決算報告を承認

第二号議案 会長選出

歴史地震研究会会則第18条第2項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、佐竹健治会員から歴史地震研究会会長に立候補の届け出があった。以上、報告する。（大邑総務委員長）

（議長）佐竹健治会員の次期会長就任の承認

拍手により佐竹健治会員の会長就任を承認

第三号議案 監査役選出

歴史地震研究会会則第18条第4項に基づき、3名以上の会員の推薦を得て、現監査役である植竹富一会員および諸井孝文会員を次期の監査役に推薦するとの届け出があった。以上、報告する。（大邑総務委員長）

（議長）植竹富一会員と諸井孝文会員の次期監査役就任の承認

拍手により植竹富一会員と諸井孝文会員の監査役就任を承認

■新会長挨拶と役員指名

佐竹健治次期会長より挨拶。2023 年度の役員は、副会長に蝦名裕一会員（新任）、幹事は総務委員長に大邑潤三会員（継続）、財政委員長に石辺岳男氏（新任）、広報委員長に室谷智子氏（継続）、行事委員長に松浦律子会員（新任）、編集出版委員長に加納靖之会員（継続）を指名する。各委員会の運営のために必要数の委員を追って指名する。

■各新幹事・監査役より挨拶

第四号議案 2023 年度事業計画および予算案

1. 2023 年度事業計画案

(1)研究成果発表会および講演会

- ①第 40 回歴史地震研究会（小田原大会）を小田原三の丸ホール（小ホール）において開催中である。
- ②2024 年第 41 回大会を長野県木曽町で開催するため準備を行う。（松浦新行事委員長）
- ③2025 年第 42 回大会の大会候補地について候補地の選定、日程調整を行う。（大邑総務委員長）

(2)会誌の刊行（加納編集出版委員長）

総会資料第四号議案 1.(2)により、会誌『歴史地震』第 39 号を 2024 年 7 月末頃に発行予定であり、論文を募集する旨と体裁や締め切りについて説明。

(3)広報活動（代理：大邑総務委員長）

総会資料第四号議案 1.(3)により、ホームページと会員メーリングリストおよび musha の運営管理を引き続き行うこと、および会員向けメーリングリストへの登録呼びかけを説明。

(4)歴史地震研究に関する業績の表彰（大邑総務委員長）

総会資料第四号議案 1.(4)により、歴史地震研究会功績賞の授賞対象者の選考を検討する旨を説明。

(5)その他（大邑総務委員長）

会の運営のため総会および年間 5 回程度の幹事会を開催する旨、総会資料第四号議案 1.(5)により説明。

2. 2023 年度予算案（諸井財政委員長）

総会資料第四号議案 2 により 2023 年度予算案について説明。

〈第四号議案についての質疑〉

質疑・応答なし

（議長）第四号議案 2023 年度事業計画および予算案の承認

拍手により 2023 年度事業計画および予算案を承認

■議長解任

■閉会

3. 幹事会議事録

2022 年度 第 5 回幹事会議事録

場所: オンライン会議

日時: 2023 年 7 月 6 日 (水) 17:00~19:00

出席者: 松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 萬年(行事), 加納(編集出版), 室谷(広報), 中村(監査), 植竹(監査), 大邑(総務)

1. 入退会者の承認及び 2021 年度会費受取状況（2022 年 4 月 26 日～2022 年 6 月 21 日）（財政）

- ✓ 新規入会者 2 名, 2022 年度末退会者 4 名, 2022 年度休会者 0 名, 2022 年度会員特典停止からの復活 3 名
→新規入会者と復活を承認（現会員総数 272 名）
- ✓ 登録内容変更 6 名
- ✓ 2022 年度会費受取状況 248 名（督促後 20 名, 未納 24 名）
- ✓ 2021 年度会費 269 名（2022 年度特典停止 7 名）
- ✓ 2023 年度会費 6 名納入済
- ✓ 会員でない小田原大会発表申し込み者について → 7 月中に入会申請と会費入金するよう通知

2. 2023 年小田原大会準備状況について（行事）

- ✓ 公開講演会の共催申請書の内容を確認 →承認
- ✓ 懇親会の現時点での人数について確認 →申し込み締切後に人数を連絡
- ✓ 会場の下見について
- ✓ 当日のアルバイト確保について(受付・会場)

3. 「歴史地震」38 号の編集について（編集出版）

- ✓ 38 号については編集作業がほぼ終わり印刷の段階
- ✓ 論説 7, 資料 8, 報告 4, 訂正 0, 要旨 25, 総ページ数 248（持ち越しの原稿が 2 件）
- ✓ 現在 2 回目の校正 PDF を作成中 →最終確認し印刷工程に移る
- ✓ 図書館送付先リストは済, 会員送付先リストは直前まで調整して印刷所へ提出
- ✓ 7 月 28 日に発送予定
- ✓ 部数 450 部(会員 272+図書館 123+著者追加購入 21+保管 34)を予定 → 承認
- ✓ 手紙(会誌に同封), 会費払込票について確認
→今年は総会が早いので総会資料の掲載時期について要修正(8 月中旬に変更)
- ✓ 著者追加購入分の購入手続きについて確認(総務・財政)
- ✓ JST への連絡先変更通知について
- ✓ 原稿の締切の再考について
- ✓ 編集規定の著作権関係の記述について(著者の二次利用の明文化について)

4. 広報活動について（広報）

- ✓ 各メーリングリストの管理・編集・追加を実施
- ✓ インターネットサーバーのセキュリティ対応を実施
- ✓ ホームページで小田原大会のプログラムを掲載, 苫小牧公開講演会の動画公開ページを削除
- ✓ webmaster 宛メールへの対応 1 件
- ✓ 小田原大会の広報を各関連学会に依頼
- ✓ 今後, メーリングリストの管理, 行事委員氏名のホームページ掲載, 小田原大会開催情報の Web 掲載(随時)を行う

5. 功績賞の準備について

- ✓ 賞状, ケースの作成状況について報告
- ✓ 本人への通知, 旅費について確認

6. その他

- ✓ 2024 年大会について(会場は仮押さえ済, 宿の斡旋について等)
- ✓ 国土地理院の夏の展示の図録について
- ✓ バックナンバーの寄贈について
- ✓ 次期会長の推薦について
- ✓ 幹事・監査の変更について
- ✓ 監査報告について

○次回幹事会は 8 月 10 日の予定（オンライン開催）

2023 年度 第1回幹事会議事録

場所: オンライン会議

日時: 2023 年 8 月 10 日(水) 17:00~19:00

出席者: 松浦(会長), 堀川(副会長), 諸井(財政), 萬年(行事), 加納(編集出版), 室谷(広報), 中村(監査), 植竹(監査), 大邑(総務)

1. 入退会者の承認及び 2023 年度会費受取状況(2023 年 7 月 6 日~2023 年 8 月 9 日)(財政)

- ✓ 新規入会者 5 名, 2022 年度末退会者 2 名, 2022 年度休会者 0 名, 休会・除名からの復活 0 名, 2022 年度会員特典停止からの復活 0 名
→新規入会者を承認(現会員総数 248 名)
- ✓ 登録内容変更 3 名
- ✓ 2022 年度会費受取状況 257 名(督促後 29 名, 未納 18 名)

- ✓ 2023 年度会費 109 名, 2024 年度会費 1 名 納入済
- 2. 2022 年度決算・2023 年度予算案について説明（財政）
 - ✓ 小田原大会の予算および会誌予算ほかについて議論 → 問題ないことを確認
- 3. 総会の準備について（総務・財政）
 - ✓ 総会資料案を確認・修正
 - ✓ 功績賞の授賞式を 1 日懇親会前に行うことを決定し大会プログラムにも記載
 - ✓ 委任状のフォーマット, 総会資料のアップ, 締め切り等について確認 → お盆明けに設定
- 4. 2023 年小田原大会の準備と申込み状況について（行事）
 - ✓ 神奈川県との共催と会場費の神奈川県の負担（会場費の 2/3）について
 - ✓ 共催にあたり一般参加の参加費について → 非会員も会員と同額にすることを決定
 - ✓ PC の準備について → 基本的に Mac を接続
 - ✓ 公開講演会のレジュメについては印刷の準備を完了
 - ✓ 巡検参加者数(54 名), バス代, 保険代, 入館料などを確認 → 参加費 2,000 円を決定
 - ✓ 巡検の集合場所について周知することを確認
 - ✓ 懇親会参加者数(65 名), 参加費(一般・学生の差), 時間等を確認 → 翌日会場に発注
 - ✓ 領収書の取り扱い, 懇親会参加者について確認
 - ✓ 公開講演会のオンライン配信(業者)について → 業者, 講師とホールに確認
 - ✓ 座長の依頼について
- 5. 「歴史地震」38 号の編集について（編集出版）
 - ✓ 38 号の最終的な部数は 450 部 1 冊あたり 1440 円
 - ✓ 会員 255 名, 無償送付先 123 ヶ所 計 378 ヶ所
 - ✓ 宛先不明分の扱いについて確認
 - ✓ 著者の追加購入分について確認
 - ✓ 次号に向けて継続のものが 1 件
- 6. 広報活動について（広報）
 - ✓ 各メーリングリストの管理・編集・追加を実施
 - ✓ ホームページの更新
 - ✓ webmaster 宛メールへの対応 3 件(会員連絡先の照会, 大会取材申込み, 郵便不達)
 - ✓ 今後, メーリングリストの整備, 小田原大会情報の掲載, 会誌掲載図の引用についての案内を掲載の予定 → 引用の案内については継続審議とする
- 7. その他
 - ✓ 2024 年大会について進捗を確認
 - ✓ 功績賞の賞状・ケースを大会前に郵送することを確認

○次回幹事会は大会終了後の予定（オンライン開催）

2023 年度 第 2 回幹事会議事録

場所: オンライン会議

日時: 2023 年 12 月 19 日(火) 17:00~18:30

出席者: 佐竹(会長), 松浦(旧会長・新行事), 蝦名(副会長), 堀川(旧副会長), 石辺(財政), 諸井(旧財政・新監査), 萬年(行事), 加納(編集出版), 室谷(広報), 植竹(監査), 大邑(総務)

1. 入退会者の承認及び 2023 年度会費受取状況（2023 年 8 月 10 日~2023 年 12 月 18 日）（財政）
 - ✓ 新規入会者 0 名, 2023 年度末退会者 1 名, 2022 年度休会者 0 名, 休会・除名からの復活 0 名, 2023 年度会員特典停止からの復活 4 名
→ 承認（現会員総数 252 名）
 - ✓ 登録内容変更 1 名
 - ✓ 2022 年度会費受取状況 251 名
 - ✓ 2023 年度会費 208 名(未納 44 名), 2024 年度会費 2 名 納入済
 - ✓ 会費未納会員の会誌への投稿について → 2023 年度分を督促することを決定

2. 小田原大会の報告（財政・行事）

- ✓ 参加者 115 名（+功績賞受賞者 1 名）、懇親会参加者 55 名、懇親会(学生)6 名、巡検参加者 45 名、
- ✓ 小田原大会の収支を確認（収入 876,466 円、支出 819,665 円、収支差額 56,801 円）

3. 役員および委員名簿の確認（総務）

- ✓ 新役員・委員の名簿を確認

4. 「歴史地震」39 号の編集について（編集出版）

- ✓ 投稿状況：論説 15、資料 4、報告 4、要旨 36、総頁数 273（予定）
- ✓ 今週中に査読者に原稿が回る予定
- ✓ 4 月上旬に受理に至らなかった場合は却下もしくは次年度となる
- ✓ 12 月 8 日に編集出版委員会でオンライン会議を実施し編集方針について確認と意見交換を行った
- ✓ 次回の会議は 2 月～3 月に実施予定（見積もりと業者の決定）
- ✓ 38 号の Web 公開については PDF ファイルと目次データを広報担当に送付する予定である
- ✓ 編集規定の非会員の投稿の扱いについて(第 3 条)議論
→第 3 条の「また、会員以外からの投稿も適宜受け付ける。」を削除することを検討
→編集規定の変更については編集委員会に諮り次回以降の幹事会で議論することを確認

5. 2024 年大会について（新行事）

- ✓ 長野県木曽町において 2024 年 9 月 13、14、15 日に開催の方針
- ✓ 会場は木曽福島駅の近くの木曽町文化交流センターを予定
- ✓ 宿泊施設が少なく 3 連休であることもふまえ、地元への負担を考慮して「おんたけ休暇村」を宿泊施設(約 70 名)とし同施設で懇親会も実施（会場への無料送迎あり）
- ✓ 各方面への共催申請については検討中
- ✓ 15 日公開講演会（巡検の一部）は王滝村公民館を使用 →使用願い・共催依頼を提出する予定
- ✓ 宿の予約(支払い)を含めた参加申込みを 5 月末締め切りとする予定
- ✓ 例年と異なるため第一報を早めに出すことを確認
- ✓ 仲介については観光協会にお願いする予定

6. 広報活動について（広報）

- ✓ 各メーリングリストの管理・編集・追加を実施
- ✓ ホームページの更新(小田原大会の終了・2024 年大会の告知・幹事委員名簿の変更ほか)
- ✓ webmaster 宛メールへの対応 2 件(取材申込み、大会欠席後の参加費について)
- ✓ mem_hes メーリングリストの不達などの整理について議論
→メールアドレスと会員名の対応が不明なものなどについて突合作業を進める

7. その他

- ✓ 論文の図の使用申請について 2 件
- ✓ 会誌投稿受付のメールアドレスの加除について
- ✓ 幹事会メーリスの加除について
- ✓ インボイス対応について
→大会参加費には消費税が入っていない旨を領収書に明記すること、本会が非課税団体であることを HP に掲載することを検討
→インボイス番号の取得については継続審議とすることを確認

○次回幹事会は 4 月以降の予定（オンライン開催）

2023 年度 第 3 回幹事会議事録

場所:オンライン会議

日時:2024 年 5 月 9 日(木) 17:00～18:40

出席者:佐竹(会長)、蝦名(副会長)、松浦(行事)、石辺(財政)、加納(編集出版)、室谷(広報)、諸井(監査)、植竹(監査)、大邑(総務)

7. 入退会者の承認及び 2023 年度会費受取状況（2023 年 8 月 10 日～2023 年 12 月 18 日）（財政）

- ✓ 新規入会者 3 名、2023 年度末退会者 4 名、2022 年度休会者 0 名、休会・除名からの復活 0 名、2023 年度会員

- 特典停止からの復活 0 名
- 承認（現会員総数 255 名）
- ✓ 登録内容変更 9 名
- ✓ 2022 年度会費受取状況 251 名
- ✓ 2023 年度会費 219 名（未納 37 名）、2024 年度会費 2 名 納入済
- ✓ 復会した会員の会費および会誌送付の扱いについて
- ✓ 未納者への督促方法についての確認

8. 「歴史地震」39 号の編集について（編集出版）

- ✓ 投稿状況：論説 15、資料 4、報告 4、要旨 34、総頁数 286（予定）
- ✓ 一部を除きほぼ受理された状況だが更に追加される予定
- ✓ 最終原稿を著者校正に回している状況（5 月下旬まで）
- ✓ 6 月 14 日に印刷所に入稿し 7 月末に出版の予定
- ✓ 見積もりに関して送料が変更になる予定 →前田印刷への発注を決定
- ✓ 発行部数 450 部を予定 →部数を決定
- ✓ 会費払込票の扱いについては例年通り財政に依頼（旧財政から引き継ぎ）
- ✓ 著者贈呈用冊子の扱いについて確認 →例年通り財政と総務で担当することを確認
- ✓ 送料についてはヤマト運輸から日本郵便に変更になることによる変更
- ✓ 図書館送付リストについては編集出版から副会長に渡して内容の確認をすることを決定
- ✓ バックナンバー代金の値上げを検討 →今回の見積もりを確認してから判断
- ✓ バックナンバーの在庫数について HP を更新する必要あり →総務が広報へ連絡

9. 2024 年木曽御嶽大会について（行事）

- ✓ 発表申込み 3 件、宿泊申込み約 10 名の状況
- ✓ 5 月末の締切後にプログラム作成（6 月 10 日までに確定できれば地震学会ニューズレターに掲載可）

10. 広報活動について（広報）

- ✓ 各メーリングリストの管理・編集・追加を実施
- ✓ サーバーの移行に伴う作業の実施
- ✓ 各メーリングリスト不達のアドレスに対する作業について説明
- ✓ メールアドレスを確認する仕組みについて議論
→不達のアドレスは記録の上削除、判明する会員については個別に確認、それ以外については、会誌に同封する「お知らせ」にメールが届かない会員は登録をするよう記載することを決定
- ✓ ホームページの更新（木曽御嶽大会の情報更新ほか）
- ✓ webmaster 宛メールへの対応 4 件（写真の利用申請、Youtube 番組への出演依頼、EBSCOhost への収録、高校授業への支援依頼）
- ✓ EBSCOhost への収録について議論、契約書の確認 →掲載を見送ることを決定
- ✓ 著作物使用許諾申請書の様式を掲載する件について →総務から様式案を提示し検討することを確認

11. 功績賞の選考について

- ✓ 本幹事会前に功績賞選考委員会が開かれ 1 名を選考したことを報告 →承認
- ✓ 副会長から通知することを決定

12. その他

- ✓ 2025 年大会および 2026 年大会の開催地について

○次回幹事会は 6 月の予定（オンライン開催）

4. 第 41 回歴史地震研究会（2024 年 9 月 13～15 日、木曽御嶽大会）関係

第 41 回歴史地震研究会申し込み案内

■第 41 回歴史地震研究会（木曽御嶽大会）のお知らせ（第 1 報）

歴史地震研究会では、以下の日程で第 41 回歴史地震研究会（木曽御嶽大会）を開催します。講演申し込みの締め切りは、5 月 31 日（金）です。木曽御嶽大会では、大会参加費、巡検費、宿泊費、懇親会費はすべて事前に決済していただきます。この締め切りも 5 月 31 日（金）です。大会に参加する方は、必ず事前決済を済ませてください。事前決済に関する情報は 11 項を

覧下さい。大会会場周辺の宿泊施設には限りがあるため、地元の観光協会のご協力で宿泊先を優先確保しております。詳しくは9項をご覧下さい。

1. 研究発表会の場所

木曽町文化交流センター多目的ホール(9月13日(金)12時開場予定)

長野県木曽郡木曽町福島 5129 番地 JR 木曽福島駅徒歩 13 分

<https://www.town-kiso.com/facility/100034/> (ホームページの地図をご覧ください)

<https://www.town-kiso.com/files/file/box/bb/bbf7ac8eccdd4427596aa554a250854d986ed700.pdf>

2. 日程

2024 年 9 月 13 日(金)午後～15 日(日)の 3 日間

1 日目:研究会(口頭発表・ポスター発表)・表彰式・懇親会

懇親会は、おんたけ休暇村で開催します。駅近くに宿泊の方は送迎します。

2 日目:研究会(口頭発表・ポスター発表)・総会

3 日目:巡検(バスで長野県西部地震の痕跡を見学後、王滝村公民館での公開講演会と地域交流会を実施。解散は JR 木曽福島駅 16 時頃を予定。)

※今回の公開講演会は巡検コースに含まれますが、王滝村公民館まで自力で往復できるならば巡検に参加しなくても講演会に参加することは可能です。

3. 公開講演会

テーマ:「長野県西部地震から 40 年」(仮題)

○当時を知る飯尾能久京都大学名誉教授の講演

○王滝村誌編集室長を務めた澤田義幸氏(御嶽山火山マイスターネットワーク代表)○地震を経験された方の体験談など地域交流の時間

4. 巡検

木曽町文化交流センター前(8 時頃)～木曽町御嶽山ビジターセンターさとテラス三岳～震災慰霊碑・噴火慰霊碑～御嶽崩れ・御嶽山・ビジターセンターやまテラス王滝など(弁当昼食)～王滝村公民館(公開講演会・地域交流会)→JR 木曽福島駅(16 時頃解散予定)

※巡検の参加希望者は、なるべく「おんたけ休暇村」に宿泊してください(11 項参照)。コースは天候等によって変更があります。道路状況等によって 16 時までの木曽福島駅到着を保証できかねますことを、予めご承知置ください。昼食(千円)が含まれます。

5. 研究発表申込(締切 5 月 31 日(金))

下記の Google Forms よりお申し込みください。発表講演の申し込みは、会費を完納(今年度の 2023 年 9 月～2024 年 8 月分までを含む)している会員に限られます。 <https://forms.gle/meFqnNex2G7MBa5Z9>

※今回は発表会の時間が 1 日半とタイトなため、口頭発表の申し込み数が上限を超えた場合は、一人 1 発表の制限が発動いたします。複数申し込まれる場合は、予め一番発表したい題目を明示してお申し込みください。

※発表形式はご意向にそえない場合があります。

※大会の情報はホームページ上で随時更新致します。

6. 研究発表要旨の提出(締切 7 月 31 日(水))

下記のメールアドレスに 7 月 31 日までに提出下さい。要旨を一旦提出した後に差替える場合、差替えることが分かるようにメールの件名に(差替え)と記してください。差替えも 7 月 31 日締切です。

講演要旨のひな形は大会のお知らせのページからダウンロードしてください。

講演要旨提出用メールアドレス:rekishizishin2024@gmail.com

7. 宿泊についての注意事項

木曽御嶽大会の会場となる木曽福島町周辺は、宿泊施設が限られます。加えて開催期間が、秋の観光シーズンの週末と重なります。このため、地元の観光協会にご協力いただき、御嶽山山腹の宿泊施設「おんたけ休暇村」を格安で優先確保しました(詳細は 9 項)。休暇村宿泊者には、大会会場の木曽町文化交流センターまでの送迎が利用できます。また、休暇村に 13 日夜に宿泊される方は、懇親会の参加料が宿泊費に含まれます(夕食代が懇親会参加料の一部になっています)。

8. 参加費

・研究会参加費:会員・非会員とも 2,500 円(学生は無料)

・懇親会:休暇村に 13 日に宿泊しない方:6,000 円

(休暇村に 13 日に宿泊される方は懇親会が高めの夕食代として宿泊料に含まれます)

・巡検&公開講演会:4,800 円(巡検中の昼食弁当代千円を分けた領収書が必要な方は研究会がインボイス番号無しで後日発行可能です。申込サイトの備考欄にご記入ください。)

・公開講演会のみ参加:会員・非会員とも無料(その場合、王滝村公民館までの往復交通手段は、各自で確保してください)

研究会、懇親会、巡検への申込は 9 項の幹旋先に宿泊されない場合でも、11 項の事前決済サイトを通してお申し込みください。幹旋先「おんたけ休暇村」(50 室先着順)に研究会参加者が集合できる様に、お親しい方と二名以上の相部屋宿泊をお誘いあわせの上で、備考欄に記入して各自申し込んでいただきますよう、お願いいたします。会員以外の同伴者がいらっしゃる場合も、その旨、備考欄に記入ください。シングル利用もできます。

9. 幹旋宿泊先「おんたけ休暇村」の情報

事前決済サイト(11 項にサイトの URL と QR コード)から、申し込んで下さい。部屋数に限りがあります。研究発表会場への送迎があります。

・休暇村の宿情報 <https://www.ontake-kyukamura.net/>

・宿泊費 9 月 13 日 1 泊 2 食(12,000 円)懇親会費込み / 9 月 14 日 1 泊 2 食(10,500 円)

相部屋希望者は若干の割引があります。相部屋の相手方が決まっている場合は、事前決済サイトの備考欄に相部屋の方の氏名を記入するか、〇〇が相部屋で合わせて宿泊を申し込んだ、とお知らせください。

休暇村以外に宿泊される方も、大会参加申し込みと参加費の事前決済が必要です(11 項の D ～H プラン)。駅周辺の旅館・民宿は、時節柄とインバウンド等で予約が困難なことが予想されます。

※13 日休暇村に宿泊されると、夕食が懇親会なので自動的に懇親会参加となります。

※14 日休暇村宿泊で巡検に参加しない設定は設けておりません。巡検不参加の方は、14 日の宿泊はご自身で手配をお願いいたします。

10. 研究会会場までのアクセス情報と周辺情報

会場(木曽町文化交流センター)は、JR 中央本線の木曽福島駅から徒歩約 10 分の場所にあります。木曽福島駅には、上り下りとも概ね 1 時間に 1 本の特急(しなの)が停車します。

研究会会場の周辺では昼食が取れる場所が数件程度に限られます。事前決済サービスでは、2 日目の弁当を予約できます。また徒歩 15 分圏内に、セブンイレブンやイオン(スーパー)があります。

帰りの列車の情報(4 月 1 日現在)

○名古屋方面

・しなの 18 号木曽福島 16:31 発一千種 17:56 着ー名古屋 18:07 着

・しなの 20 号木曽福島 17:31 発一千種 18:56 着ー名古屋 19:07 着

○塩尻・長野方面

・しなの 17 号木曽福島 16:25 発ー塩尻 16:54 着ー松本 17:04 着ー長野 18:00 着

※塩尻駅で新宿行き特急あずさ 50 号に乗れます

※長野駅で北陸新幹線に乗れます

11. 事前決済サイト(全ての研究会参加希望者は事前決済を行ってください)

事前決済は一般社団法人木曽おんたけ観光局(長野県知事登録旅行業第 2-600 号)に委託しています。A から H のプランがあり、それぞれ宿泊日や巡検、懇親会の有無などが異なりますので良く読んで希望プランのリンク先からお申し込み下さい。相部屋の参加会員が決まってい申し込む場合も、参加申し込みが個別に必要ですので、各自決済して、備考欄に、誰それと相部屋です、と明記してください。多くの参加者が休暇村に宿泊できるように、相部屋へのご協力を何卒宜しくお願いいたします。

プラン早見表 (○:含まれる、×:含まれない)

プラン	金額	大会参加費	懇親会費	巡検費	13 日宿泊	14 日宿泊
A	29800 円* (27300 円)*	○	○	○	○	○
B	14500 円*(12000 円)*	○	○	×	○	×
C	17800 円*(15300 円)*	○	×	○	×	○
D	13300 円 (10800 円)	○	○	○	×	×
E	8500 円 (6000 円)	○	○	×	×	×
F	7300 円 (4800 円)	○	×	○	×	×
G	2500 円	○	×	×	×	×
H	4800 円	×	×	○	×	×

*相部屋の場合は 1 泊につき 500 円割引予定。()は学生料金。

(各プラン申込み URL および QR コード省略)

5. 各種お知らせ・資料

『歴史地震』原稿募集のお知らせ

会誌『歴史地震』では、通年、投稿を受け付けておりますが、2025 年 7 月末発行予定の次号(第 40 号)に掲載希望の方は、2024 年 11 月 30 日必着でご投稿をお願いいたします。なお、投稿を受付済みで未掲載の記事は、次号への掲載希望として取り扱っております。

1. 募集原稿の内容

『歴史地震』は、歴史上の地震・火山噴火ならびにそれに関連する諸現象・諸問題を対象とする記事で構成し、記事の種別として、論説、資料、講演要旨、報告、紹介を取り扱います。頁数の上限は、論説と資料は 20 頁、講演要旨は 1 頁、報告と紹介は 4 頁ですが、超過が認められる場合もあります。編集出版委員会では、第 40 号を次の記事を中心に構成する方針です。

- (1) 2024 年 9 月の第 41 回歴史地震研究会での発表内容に関連する記事
- (2) 昨年までの研究会で発表された内容、あるいはそのほかのオリジナルな内容に関する記事
- (3) 2024 年 9 月の第 41 回歴史地震研究会の講演要旨集に掲載された講演要旨

これらのうち、(1)、(2)の投稿をお待ちしています。

2. 編集体制と編集方針

『歴史地震』は以下の編集体制・方針を取っております。

- (1) 編集出版委員会で編集作業を進めます。
- (2) 論説および資料については、査読制を取り入れていますので、基準を満たさない記事は掲載できません。少なくとも 1 名の査読者が原稿を読んで意見を著者にフィードバックし、不備を指摘・訂正していただきます。
- (3) 原稿を作成する標準的な体裁『歴史地震』の標準書式」を定めています。最新の標準書式に従った Word ファイルが歴史地震研究会のウェブサイト(<http://www.histeq.jp/kaishi.html>)からダウンロードできますので、このファイルを書き換える形で原稿を準備されることをお奨めします。
- (4) 電子ファイルでの投稿を奨励します。少なくとも本文は電子ファイル(フロッピーディスク等あるいはメール)で投稿していたら、編集作業が効率的に行えますので、ご協力をお願いいたします。
- (5) 「投稿シート」(次頁に記載)に必要な事項をご記入のうえ、このシートとともにご投稿ください。最新の様式の「投稿シート」は上記ウェブサイトからもダウンロードできます。
- (6) 最終原稿は、印刷物としての『歴史地震』のほか、PDF 版が歴史地震研究会のウェブサイトでもオンラインジャーナルとしても一般に公開されます。原則として、印刷物はモノクロで刊行します。
- (7) 掲載料の頁単価は、モノクロページが 1,500 円、口絵のカラーページが 23,000 円です(予定)。ただし、投稿者が会員の場合は、1.に示した頁数までのモノクロページについては、無料です。
- (8) その他詳細は、編集規定をご覧ください。

3. 投稿先

- ・電子メールでご投稿の場合: histeq@histeq.jp
 - ※ 添付ファイルが 5MB 以上の大きさになる場合には、一般的なファイル送信サービスをご利用頂くか原稿提出窓口(histeq@histeq.jp)までご相談下さい。
 - ※ 原稿を受領した場合は、必ずその旨の返信をしております。一週間以上経過しても受領の連絡がない場合には、何らかの原因でファイルを受け取ることができていない可能性がありますので、お手数ですが、上記アドレスまで再度お問い合わせください。
 - ・郵送でご投稿の場合: 〒101-0064 千代田区神田猿樂町 1-5-18 千代田ビル 8F
地震予知総合研究振興会内歴史地震研究会編集出版委員会 宛
 - ※ 郵送で投稿する場合は、確認のため、上記電子メールアドレスにも連絡して下さい。
- ・ご投稿の際には、忘れずに「投稿シート」をご提出ください。

『歴史地震』投稿シート

ver.202006

＜基本情報＞

記事の種類	論説・資料・報告・紹介 ※ 論説および資料の場合は、査読の対象となります。	
記事タイトル		
著 者		
投稿者(連絡責任者)	氏 名	
	所 属	
	郵便番号・住所	〒
	電話番号	
	電子メールアドレス	

＜質問・チェック事項＞

記事について

(1) 記事の内容は過去の歴史地震研究会で発表した内容ですか？	はい・いいえ
・「はい」の場合、発表年・開催場所・発表番号(O-12 など)をご記入ください	
※ 発表済の場合は、編集出版委員会の判断で、通常2名以上の査読者を1名とすることがあります(論説、資料の場合)。	

体裁・形式について

(3) 原稿は、歴史地震研究会ウェブサイトからダウンロードした標準書式のWord ファイルを書き換えて作成したものですか？	はい・いいえ
・「いいえ」の場合、以下の標準書式に従っていることを十分に確認してください。標準書式からのずれが大きい原稿は、編集出版作業に手間がかかりすぎるため、受け付けられないことがあります。 ☐ A4 サイズ, 左右の余白各2cm, 上下の余白各2.5cm ☐ フォントは和文が明朝体, 英文がTimes ☐ 文字サイズは, 和文タイトル16 pt , 英文タイトル12pt, 所属・著者名10.5pt, 英文要旨10.5pt. ☐ 著者の連絡先は和文の所属に脚注として加える. ☐ キーワードは英文要旨の次の行に Keywords: xxxx, www, zzz. のように記入する. ☐ キーワードの下でセクションを切り替え, 本文は2 段組とする. 段の横幅は8cm, 段の間は7mm 程度, 1 行22 文字, 1 ページ45 行とする. ☐ 本文の文字サイズはすべて10.5pt .	
(4) 記事の種類が「論説」あるいは「資料」の場合、英文の表題、英文の著者名・所属、英文要旨(200 語程度)、英文キーワードを備えていますか？	はい・いいえ・該当しない
(5) 句読点は「,」と「.」で統一されていますか？ ※ されていない場合は検索・置換ツールを使って統一してください	はい・いいえ

(6) 本文中で和暦と西暦が混同されるおそれはないですか？ ※ 歴史地震研究会では、混同を避けるため、和暦には漢数字(宝永四年十月四日など)、西暦にはアラビア数字(1707年10月28日など)を使うことを推奨しています。	ない・ある
(7) 西暦1582 年以前の西暦は(グレゴリオ暦ではなく)ユリウス暦を用いていますか？	はい・いいえ・該当しない
・「いいえ」の場合、使っている暦の種類が明記されていますか？	はい・いいえ

図・写真について

(8) 既公表の文献(自分で公表したものも含む)や機関・個人が所蔵している史料から転載した図や写真はありますか？	はい・いいえ
・「はい」の場合、出版社・学会や機関、個人に転載許可をとっていますか？	はい・いいえ
(9) 製本(印刷)版でカラー図・写真の掲載を希望しますか？	はい・検討中・いいえ
・「はい」もしくは「検討中」の場合、希望する図・写真の番号をご記入ください	
※ カラー図を希望された場合、本文中にはモノクロの図が掲載され、そのカラー版が口絵として巻頭に再掲される格好となります。モノクロとカラーで図の内容・サイズを変更することはできません。なお、カラー頁料金が追加の掲載料が発生します。 ※ 歴史地震研究会ウェブサイトで公開されるオンラインジャーナル(PDF版)では、希望の有無に関わらず、フルカラーとなります。	
(10) カラー掲載しない図について、モノクロ印刷に必要な情報が判読・識別可能ですか？	はい・いいえ・図はない